



弘前ねぶたまつり

今年は81台が参加しました。
 友好都市の北海道斜里町や、群馬県太田市からの参加者もありました。
 弘前市マスコットキャラクターの「たか丸くん」もいろいろな形で登場していました。
 (国指定重要無形民俗文化財)



弘前市
 マスコットキャラクター
 「たか丸くん」ねぶた

※今号の市議会だよりは、平成25年第2回定例会（会期：6月7日から28日まで22日間）の内容を中心に、平成25年5月3日から7月16日までの出来事について掲載いたしました。

議会トピックス

常任委員会及び議会運営委員会の委員を改選

平成25年第2回定例会で行われました。
 ※敬称略。◎委員長、○副委員長。

総務常任委員会

定数9名

- ◎小山内 司 工藤 光志
- 谷川 政人 清野 一榮
- 伏見 秀人 藤田 隆司
- 佐藤 哲 柳田 誠逸
- 越 明 男

厚生常任委員会

定数8名

- ◎鳴海 毅 今 薫
- 蒔苗 博英 加藤 とし子
- 野村 太郎 石田 久憲
- 畑山 聡 工藤 良

議会運営委員会

定数10名

- ◎工藤 光志
- 伏見 秀人
- 谷川 政人
- 小山内 司
- 佐藤 哲男
- 越 明男
- 清野 一榮
- 宮本 隆志
- 高谷 友視
- 柳田 誠逸

経済文教常任委員会

定数8名

- ◎小田桐 慶二 鶴ヶ谷 慶市
- 菊池 勲 石岡 千鶴子
- 尾崎 寿一 三上 秋雄
- 小西 勇一 三上 惇

建設常任委員会

定数9名

現数8名

- ◎宮本 隆志 栗形 昭一
- 外崎 勝康 高谷 友視
- 今泉 昌一 下山 文雄
- 竹谷 マツ子 藤田 昭

産業振興対策等調査特別委員会 中央要望等の実施

平成23年12月の設置以来、市政の当面する課題について調査を行ってきましたが、岩木川中流部改修事業の促進について及び小規模地熱発電に係る補助制度の創設について、中央省庁及び東北管内の関係機関への要望活動を行うこととしました。

ひろさき市議会だよりは、わかりやすい広報誌を目指して、今回からリニューアルしました。これまでより増ページの8ページとして、掲載内容の充実を図っていきます。

平成25年第2回定例会

委員会付託議案 27件

議案は、議決の前に、所管の委員会で詳しく審査を行います。今定例会では、27件の議案が委員会に付託されました。

議案審査を行った委員会
総務常任委員会
厚生常任委員会
経済文教常任委員会
建設常任委員会
予算特別委員会

主な議案

○弘前市職員の給与の臨時特例に関する条例案

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に準じ、職員の給与削減に関して必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

○弘前市地域の元気臨時基金条例案

弘前市地域の元気臨時基金の設置及び管理に関して必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

○弘前市長等の給料の特例に関する条例

一般職の職員の給与削減に準じ、市長等の給料の特例に関して必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

○平成25年度弘前市一般会計補正予算（第2号）

地方公務員の給与削減を求める国の要請に対応し、市職員の給与を7月から減額する予算を計上したほか、今冬の豪雪によるりんご園地等の被害に対応し生産者を支援する経費、国の平成24年度補正予算に対応した事業等に対応する補正が主な内容です。

補正額 5億230万1千円

補正予算案に対する討論

予算特別委員会では、職員の給与削減を含む予算案について、委員が賛成・反対それぞれの立場から討論を行いました。

（討論の要旨）

○反対

- ・地方自治の原則を踏みにじるもの
- ・地域経済に深刻なダメージとなる
- ・国の地方に対する財源確保の責任を投げ出すこと

○賛成

- ・東日本大震災の被災地の復旧・復興に取り組む財源確保のため、国の要請に協力せざるを得ないもの

6月補正後の平成25年度予算

一般会計 778億9,475万3千円 特別会計 432億782万9千円
 （6月補正額 11億6,475万3千円） （6月補正額 7億2,295万4千円）

委員会付託省略議案 5件

委員会の審査を行う時間的余裕がないものなどは、委員会付託が省略されます。今定例会では5件の議案がありました。

主な議案

○弘前市監査委員の選任について

議会の議員のうちから選任する監査委員について、藤田昭議員を選任することについて、議会の同意を求めるものです。

○人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了となる鶴谷郁子委員、外崎由紀子委員、小田桐ミツエ委員の後任候補者として、鶴谷郁子委員（再任）、外崎由紀子委員（再任）、小田桐ミツエ委員（再任）を推薦することについて、議会の同意を求めるものです。

議員提出議案 1件

○弘前市議会委員会条例の一部を改正する条例案

行政組織の見直しに伴い、関係規定を整理するため、条例を改正するものです。

請願 2件

○子ども医療費の無料化を求める請願

……不採択

○治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める国への

意見書の提出についての請願書

……不採択

議会選出各種委員等

常任委員等の改選にあわせて行われた見直しにより、議会から選出した各種委員等は次のとおりとなりました。 ※敬称略

○津軽広域連合議会議員

野村 太郎 工藤 光志
 石岡千鶴子 下山 文雄
 佐藤 哲 柳田 誠逸
 越 明男

○弘前地区消防事務組合議会議員

外崎 勝康 三上 秋雄
 小山内 司 三上 惇
 石田 久 藤田 隆司

○議会推薦農業委員

小田桐慶二 高谷 友視
 佐藤 哲 柳田 誠逸

○弘前市都市計画審議会委員

蒔苗 博英 伏見 秀人
 畑山 聡 清野 一榮

○弘前市営住宅運営委員会委員

野村 太郎 三上 秋雄
 加藤とし子 工藤 光志
 石田 久

一 般 質 問

各質問者が執筆しました質問・答弁の要約を掲載いたします。
 ※敬称略。()は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



越 明 男
 (日本共産党)

弘前駅前地区再開発ビルについて

問 この間、①取得金額②事業支援③分庁舎設置問題などを指摘してきた。「ヒロコ」名による再生事業の進捗状況と本事業への市の認識を問う。

答 現在7月27日のオープンに向けて、施設の改修工事や内装が着実に進んでいる。市は3階フロアの所有者として、商業フロアとの連動をしながら、会社側と一体となって準備を進めてまいりたい。

弘前ウォーターフロント開発(株)について

問 法人への指定管理料投入に反対をしてきた。最近市長は、「会社側との新たな協議に入る」との姿勢であるが、その意図は何か。

答 改めて、現状把握を行うためにいくつかの文書を照会した。いただいた回答をもとに、市としても内容を確認・検討を行い、近日中に協議を始めたい。



小田 桐 慶 二
 (憲政公明)

岩木川市民ゴルフ場について

問 現状と利活用について問う。

答 平成24年度の利用者は前年比233人増、収入は前年比106,100円増。平成25年度4・5月の入場者数は前年比275人の増加傾向。市社会体育施設のあり方市民検討懇談会から、社会体育施設として継続が望ましいとの提言があり、子供から高齢者まで広く市民に利用される施設として存続しなければならないと考える。

グループホーム職員への防火・防災研修

問 実施状況を示せ。

答 各事業者が施設の状況に合わせて実施しており、45事業所中10事業所で実施、今後取組みを促していく。

小学校の非構造部材の耐震化

問 スケジュールを示せ。

答 今年度は小学校12校、中学校5校のつり天井を有する屋内運動場の耐震点検調査をし、平成27年度に工事を実施。



加 藤 とし子
 (弘前市民クラブ)

小型家電の回収について

問 「小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業」の結果と回収ボックス設置場所のPR方法、ボックス回収と他の回収方法について取組みを示せ。

答 実証事業は、公共施設等に回収ボックスを設置し使用済小型家電を回収する「ボックス回収」とごみ処理施設において収集された「燃やせないごみ」の中から使用済小型家電を手作業により選別する

「ピックアップ回収」の2つの方法で実施。PRは広報誌や市HPへの掲載、のぼり旗、FM等複数の媒体で周知。ピックアップ回収は体制が整い次第実施したい。

〈その他の質問項目〉

- 弘前市職員の給与減額支給措置
- 豪雪を振り返っての課題と改善点
- 認知症対策事業の推進
- 市立病院(クレジット払・患者サービス)
- エリア担当制度の実施状況について



野 村 太 郎
 (憲政公明)

自治基本条例について

問 弘前市においては現在自治基本条例の制定作業中であるが、現在の進捗状況はどのようになっているか。また今後の施策においてその構想、理念をどのように具体化していくのか。

答 市では平成24年6月に弘前市自治基本条例市民検討委員会を設置した。同委員会は自治基本条例に盛り込むべき項目、内容に関して現在20回に及ぶ検討会

議を開き意見交換を重ねている。本年7月には中間報告を市長に提出する予定となっている。また、市民検討委員会においても条例の実効性の確保に関する項目を掲げ審議している。また庁内においてもプロジェクトチームで独自に検討することとしている。今後も市民、議会の意向をうかがいながら具現化していきたいと考えている。

- 弘前市都市公園管理審議会委員
 菊池 勲 石岡千鶴子
 鳴海 毅
- 民生委員推薦会委員
 外崎 勝康 今泉 昌一
- 弘前市青少年問題協議会委員
 今 薫
- 弘前市社会福祉問題対策協議会委員
 菊池 勲

- 弘前市土地開発公社顧問
 尾崎 寿一 栗形 昭一
 畑山 聡 下山 文雄
 竹谷マツ子
- 弘前市立病院運営審議会委員
 谷川 政人 柳田 誠逸
 佐藤 哲

会派の名称変更

自民の会

(旧：一心会)
 (平成25年6月24日付)

- ◎三上 惇
- 佐藤 哲
- 工藤 良憲

※敬称略、◎会派代表者。



鳴海 毅
(憲政公明)

2年続きのりんご雪害について

問 昨年12月当初からの積雪が根雪となり、昨年以上の豪雪となった。雪の重みでりんごの枝折れや裂壊、農業施設の倒壊等の被害が甚大だった。雪害の状況はどうだったか、支援額はいかほどか、24年度・25年度の改植面積と本数を示せ。

答 当市は観測史上最大の153cmの積雪を記録した。昨年度比の被害面積は36%増の3000ha、被害額は60%増の55億円と

なった。昨年度は補植用苗木購入の助成、今年度はそれに加え、一般果樹苗木及び修復資材の購入、防除経費に係る助成を本定例会に提案している。被害拡大による放任園化も防ぐ対策をとる。農林水産省、県への要望活動も行い、短期的対策と中長期的対策の事業を進める。

〈その他の質問項目〉

- りんご生育状況
- 青年就農給付金 他



伏見 秀人
(無所属市民の会)

アップルマラソンの方向性

問 今後、大会運営をどのように改善するのか対応を問う。

答 今大会から、弘前警察署のご理解、ご協力を得て、交通規制時間が、時間制限内すべての6時間に延長された。今後も、参加者の安全を第一として大会運営にあたるほか、魅力あふれる大会を目指し、実施内容の見直しを継続し、この大会を、より大きく成長させる。

学校施設の開放ルールづくりについて

問 学校施設利用の統一ルールづくりの検討は、どのようになっているのか。

答 現在、開放する際の各学校現場の問題点を把握するとともに、他の自治体の実施状況を調査しているが、県内では実施事例が見当たらない。今後も調査研究をする。

〈その他の質問項目〉

- 市民活動サポートセンターの設置



工藤 光志
(憲政公明)

スマートシティ（構想）の取り組みと太陽光等再生可能エネルギーについて

問 市の取り組みはどうか。

答 スマートシティとは明確な定義はないが、「情報通信技術ICTや環境技術などの先端技術を用いて、社会インフラを効率化・高度化した都市」であると考え。弘前型スマートシティは、それに加えて、雪対策の充実を基本方針に「世界一快適な雪国」を目指している。

再生可能エネルギーに関しては、現在市内6施設に太陽光発電設備を設置しており、今後は14カ所程度に設置予定。その他、バイオマスエネルギーを活用する事業として、東北大学と連携して岩木川浄化センターの下水污泥から水素を製造することを目指しており、この取り組みについては、国土交通省の補助対象事業として今月初めに採択された。



石田 久
(日本共産党)

生活保護法の「改正」案について

問 生活保護申請を行う時に、書類の義務付けるのか、扶養義務者に対する調査権限についてどうなるのか。

答 生活保護申請は、現在も生活保護法施行規則第2条により書面を提出して行うこととされ、扶養義務者に対する扶養照会については、様々な事情により扶養困難となっている方まで強制的に扶養を求めることはしておらず、法改正によっ

てもこの取り扱いは変わらないものである。今後とも最後のセーフティネットである生活保護法の適正実施に努める。

国保44条「一部負担金」について

問 生活保護基準の110%以下、かつ貯預金3ヶ月以下である場合、一時的困窮と認められるが、どうか。

答 今回の事例は、収入が生活保護基準を大きく下回り、病気が回復したあとの収入も生活保護基準以下のため、不承認。



畑山 聡
(望雲会)

市民主権システムについて

問 近年、自治基本条例で市民主権を定めている自治体があるが、市長の中心的なマニフェストの「市民主権システム」にいう「市民」とは具体的にはどのような人々を指すのか。「主権」の意味は。

答 市民主権とは、「市民」が主体のまちづくりという意味であり、「市民」や「主権」という言葉を一つ一つの言葉として定義づけしているものではない。

忠霊塔の草刈について

問 忠霊塔敷地は草木が伸び放題で見苦しい状況にある。市所有の禅林公園等は弘前市の重要な観光地なのだから、境界の柵を取り除いて、草木の刈り取りも弘前市が協力して行うべきではないか。

答 柵は国の指導と補助により設置したもので撤去できない。忠霊塔敷地の草刈の維持管理は所有者が負担するもので、管理に係る経費を市は支出できない。



栗形 昭一
(無所属)

弘前駅前地区再開発ビルについて

問 弘前駅前地区再開発ビルの改修費を(株)マイタウンひろさきの負担で工事しているが、共用部分の改修費は管理組合の集会の決議事項ではないか？決議をしないで工事をするということは問題である。また電話会社からの敷金(約99万円)賃貸料(約320万円)があるはずなのに、平成22年4月の管理組合の収支では前期繰越金0円とはどういうことか。

答 集会の議決事項であると認識している。今後管理組合の集会を開き議決する。当時(平成22年4月)は、私どもが事務を持っていたが、詳細については掴んでいない。集会が開かれないのであれば、一組合員としてそれは求める必要があったと言えばその通りである。過去の不手際は不手際として反省すべきは反省した上で、これからきちんに対応したい。



石岡 千鶴子
(弘前市民クラブ)

桜ヶ丘団地の除雪対策について

問 消流雪溝等の事業化と除雪対策について。また、除雪が困難な地域こそ「弘前型スマートシティ構想」のモデル地区とすべきと思うが。

答 消流雪溝については水源が確保が難しいことから事業化の可能性は低い。「雪対策総合プラン」の中で、温泉水など地域の資源をリストアップし対応していきたい。

介護認定及び障がい者認定等について

問 認定までの日数がかかりすぎているのはなぜか。

答 申請者の事情をよく理解し、顔の見える対応をとっていきたい。課全体のスケジュールを指導し、事務の効率化を図っていく。

〈その他の質問項目〉

○公園整備について

・犬と散歩できるモデル公園他



尾崎 寿一
(憲政公明)

水道事業について

問 水道事業の業務委託の状況と今後の方向性について。

答 現在は浄水関係、配水関係及び営業関係において業務委託を実施している。今年度水道ビジョンをフォローアップし計画全体を見直すこととしており、今後の業務委託については、水道の運営基盤の強化という目標の中で総合的に検討し健全な事業経営を目指してまいりたい。

学校規模適正化について

問 規模適正化の考え方と小規模化が進む学校の今後の方針について。

答 質の高い義務教育を保障するため、学校の規模にとらわれず、保護者や地域の理解が得られる学校の配置が必要と考える。今後は複式学級や小規模校の在り方、学校施設、設備など多方面から検討し、本年度設置する教育創生市民会議においても広く意見を伺ってまいりたい。



小西 勇一
(日本共産党)

子どもの医療費無料化の拡充について

問 通院での窓口無料化をせめて就学前までにできないものか、そして自己負担と所得制限を取り払うことは出来ないものか。

答 所得制限や4歳以上の通院費にかかる1か月あたり1,500円の自己負担を含む制度自体の基本的な要件については、従来どおりである。

風疹予防ワクチンの接種について

問 妊娠可能な女性で接種を希望する方、妊娠している女性の夫、同居家族で、特に接種が必要と認められる方々に無料で予防接種を実施できないか。

答 これからも、発生状況を逐一把握し、県内の流行の動向を見ながら、必要に応じて対応していきたいと考えている。

〈その他の質問項目〉

○奨学金について

平成25年第2回定例会日程

(22日間)

(5月31日(金) 議会運営委員会 会期日程等の協議)

6月21日(金) 本会議

一般質問、予算特別委員会の設置、議案付託

6月7日(金) 本会議

開会、会期の決定、
常任委員・議会運営委員の選任、
一部事務組合・広域連合議会議員の互選、
農業委員会の委員の推薦、
提案理由の説明

特別委員会

議会制度等調査、
産業振興対策等調査
総務、厚生、
経済文教、建設

6月8日(土)～6月17日(月) 議案熟考

6月24日(月) 常任委員会

予算審査

6月11日(火) 特別委員会 議会制度等調査

6月25日(火) 特別委員会

議事整理

6月18日(火)～6月20日(木)

6月26日(水)～6月27日(木)

各委員長の報告、
質疑、討論、表決
閉会

本会議 一般質問

6月28日(金) 本会議



佐藤 哲
(一心会)
※質問当時

弘前市民の健康づくりについて

問 胃ガン検診の受診率向上の為のABCリスク検診(ピロリ菌検出検査)を特定検診に採用の予定はあるか。

答 胃ガン検診者は減少している。ABCリスク検診は胃ガンの原因のピロリ菌を血液検査により確実に早期発見できるメリットがある。必要性、有効性については医師会より意見をうかがっているのが今後検討していきたいと考えている。

岩木地区活性化推進化計画について

問 津軽歴史文化資料展示館(高照神社宝物殿)の進展について。

答 合併戦略プロジェクトに位置付けされている。基礎調査、基本設計、土地鑑定評価、立木調査を終え、昨年からの土地所有者と用地取得、立木補償の交渉をしている。神社所有品の帰属について協議を続けており、現在神社関係者の調整を待っている段階。暫く待ってほしい。



外崎 勝康
(憲政公明)

いじめについて

問 「子どもの笑顔を広げる弘前市民条例」に関して、今後の具体的な取組みについて、及び当市のいじめの発生件数はどうなっているか。

答 条例、行動計画の主な内容や相談窓口を分かりやすく紹介したリーフレットを7月に毎戸配布する予定。小・中学校で認知した件数は、約100件となっており、23年度の61件から増加している。

シティプロモーションについて

問 現状及び今後の取組みについて。

答 主な取組みとして、首都圏や海外でのイベント等と連携したPR活動、弘前PR応援サポート制度の創設、ホームページやフェイスブックの開設など、効果的な情報発信を行ってきた。今後は、市民からの情報も参考に地域資源の掘り出しを進め、行政だけではなく市民と一体となり、住みたいまちに取組んでいく。



今泉 昌一
(無所属)

2012-2013 除排雪の課題と対策

問 今冬の除排雪における課題と今後の対策について問う。

答 「道路排雪における国、県、市町村、業者間における協議会」を設立すべく、準備作業に入っている。また、従来の重機を主体とした除排雪から、再生可能エネルギーを活用した道路融雪などへの転換を図ることを主眼に、実行性のある雪対策総合プランを今年度に策定する。

文学遺産への案内板等の設置について

問 平成22年第3回定例会において採択された「弘前市の文学遺産への標識・案内板等の設置」について、進捗状況は。

答 案内板等を設置する場所、観光資源との連携、文学以外の先人たちとの整合性等の問題があり、検討に時間を要している。今年度は、いわゆるポータルサイトを利用した文学碑へのルートマップシステムを組み込み便宜を図りたい。

議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。請願は、○は採択、●は不採択。議長(田中 元)は採決に加わっていません。

議案等名	採決結果	野村 太郎	菊池 勲	外崎 勝康	尾崎 寿一	蒔苗 博英	畑山 聡	今 薫	小西 勇一	今泉 昌一	小田 桐慶二	伏見 秀人	鶴ヶ谷 慶市	鳴海 毅	谷川 政人	石岡 千鶴子	加藤 とし子	竹谷 マツ子	
事件処分の報告及び承認について(第8号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度弘前市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度弘前市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度弘前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度弘前市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度弘前市病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度弘前市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度弘前市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
弘前市職員の給与の臨時特例に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について(平成25年度弘前市防災行政無線施設整備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子ども医療費の無料化を求める請願	不採択	●	○	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●
治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める国への意見書の提出についての請願書	不採択	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成25年第2回定例会審議結果 ※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

市長提出議案：32件 予算関係：13件、条例関係：9件、その他：10件 議員提出議案：1件



今 薫
(無所属)

春の人事異動について

問 何故1年で移動した部長が何名もいたのか？

答 4月の人事異動は経営型へと移行する為、仕事力を高める為に適材適所人事配置を行った。

組織は人材によって無から有を生むため様々なコストがかかる。その為にも適材適所に配置し市民へお返しする必要がある。



菊池 勲
(無所属市民の会)

特別支援教育について

問 全児童数の6%の児童が発達障害を持つとされ、弘前市も小中学校合わせて89クラスの特別支援教室整備が行われている。今後の特別支援教育体制は？

答 国の新規事業である「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」に全市を挙げて取り組むことにしている。3つのモデル中学校区で、誰もが理解しやすい授業づくりや交流学习に取り組む。



蒔苗博英
(憲政公明)

果樹共済の在り方について

問 市では平成22年度から加入者への補助を15%予算計上しているが、これによる加入促進の効果はあったのか示せ。

答 加入面積は毎年少しずつ増えている状況だが、今後、特定危険方式に雪害を加えるなど、大幅な制度の見直しも必要と考えている。市として今後も、果樹制度の見直しについて要望活動を続けるとともに、果樹共済の加入促進につながる

がん対策について

問 がん対策への教育委員会としての取り組みについて問う。

答 5年生向けに飲酒・喫煙の身体に及ぼす影響について教えている。教育現場生活習慣病について弘前市医師会、弘前大学医学部と連携協定を結び、子供達の健康増進の為に総合的な取り組みをするべく準備を進めている。

フューチャースクール及びICT活用教育について

問 弘前教育活性化プロジェクトにおいてもICT活用教育の整備を進めているが、今後の弘前型ICT活用教育は？

答 今年度は、市内各中学校に教師用タブレットPC及び無線接続可能なプロジェクターを配備し、英語デジタル教科書での授業を通して、生徒の意欲と学力の向上に向けた取組を進める。

ような各種対策を実施していく。

桜、桃、りんごの花芽食害について

問 害鳥「ウソ」の対策について示せ。

答 今年の弘前公園の桜にはウソの花芽食害被害が見られた。今までに対策として、農薬による忌避を行ってきたが、登録失効により製造中止となっているため、有効な方法がない状況。世界の弘前の桜を守るためになりふり構わず、できる限り全ての対策を講じていきたい。

※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

小山内 司	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	栗形 昭一	宮本 隆志	三上 惇	高谷 友視	下山 文雄	藤田 隆司	柳田 誠逸	藤田 昭	工藤 良憲
○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

弘前市議会ホームページ
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyousei/gikai/index.html>
インターネット議会中継、会議録・映像検索システム、議会の日程など、市議会に関する情報は、こちらでご覧いただけます。



議会本会議を 傍聴しませんか

議会の本会議（開会日、一般質問、閉会日）は、どなたでも傍聴することができます（午前10時開会）。傍聴をご希望の方は、市役所庁舎4階の傍聴受付で傍聴券の交付を受けてください。受付では、住所、氏名の記載が必要です。傍聴券は、交付日限り有効です。傍聴席の数には限りがあり（傍聴席32席＋車イス用傍聴スペース2席分）、入室できない場合もあります。なお、今定例会では、6日間の本会議について、延べ77人の方が傍聴されました。また、市役所本庁舎2階のモニターやインターネットでもご覧いただけます。

平成25年第3回定例会日程（予定）

- （8月23日（金） 議会運営委員会 会期日程等の協議）
- 8月30日（金） 開会日（本会議）開会、会期の決定、提案理由の説明
- 9月27日（金） 閉会日（本会議）各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

委員会等活動報告

経済文教常任委員会

月日 5月16日(木)
場所 市役所
案件 ①りんご樹の雪害支援に係る県要望について

豪雪によるりんご樹被害に関し、調査及び市長への要望活動を行ってきましたが、5月21日(火)、青森県議会を訪れ、県議会議長へ要望書を手渡しました。

産業振興対策等調査特別委員会

月日 5月16日(木)
場所 市役所
案件 ①工業振興対策について

月日 6月21日(金)
場所 市役所
案件 ①中央要望について

月日 6月28日(金)
場所 市役所
案件 ①中央要望について

議会制度等調査特別委員会

月日 5月10日(金)
場所 市役所
案件 ①市民に対する広報広聴活動の充実に関する件について
②予算決算特別委員会における質疑方法について

月日 6月11日(火)
場所 市役所
案件 ①予算決算特別委員会における質疑方法について

月日 6月21日(金)
場所 市役所
案件 ①中間報告書案の協議について

一般行政視察の概要

全国の議会では、議員の議案審査や事務に関する調査研究のため、地方自治法の規定に基づき行政視察を行っております。

当市議員の会派等による一般行政視察について、視察地・視察項目をお知らせいたします。

○弘前市民クラブ・

無所属議員(竹谷マツ子)

日時 5月12日～15日

- ①愛媛県松山市
 - ・松山サンシャインプロジェクトについて
- ②広島県呉市
 - ・農業再生事業について
- ③大阪府大阪市
 - ・救急安心センター事業について

松山市中央浄化センターにてマイクロ水力発電施設を視察



○憲政公明

日時 5月28日～30日

- ①東京都小平市
 - ・小平市いきいき協働事業提案制度について
- ②埼玉県戸田市
 - ・障害者自立支援事業について
 - ・政策研究所について
- ③長野県岡谷市
 - ・放課後子どもの居場所づくり推進事業について



(岡谷市役所前にて)

中間報告

付託事件「市民に対する広報広聴活動の充実に関する件」のうち、下記の件について、6月28日の本会議において、中間報告を行いました。

(案件) 議会報告会について
→「あくまでも個人で開催すべき」「開催するべき」の2つの意見が出された。

(案件) アップルウェーブのラジオ放送について
→「放送に係る費用は無料とする」「放送データの再利用はしない」「発言は原則無修正とする」「契約期間は1年とし、双方異議のない場合は自動更新する」「災害等以外に恣意的に放送を中断しない」「放送時間中にコマーシャルを流さない」の6つの意見を考慮した内容で覚書を締結する。

親しまれる広報づくりにあたって



このたび、平成18年2月の新市誕生以来、32号となりました市議会だよりの掲載内容を一新いたしました。発行にあたっては、関係者各位と特別委員会のご尽力をいただき、一般質問内容や議案賛否状況など、掲載内容の充実を図るためにページ数を倍増し、カラーページを採用するなどの工夫をいたしました。

今後とも市民の目線を捉えた広報広聴活動を推進するために、より親しみやすい広報づくりを目指してまいりますので、市民の皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

弘前市議会議長 田中 元

ひろさき市議会だより編集特別委員会

委員長 三上 惇 委員 野村 太郎 委員 畑山 聡 委員 今泉 昌一
副委員長 加藤 とし子 委員 菊池 勲 委員 小西 勇一